福智町商工会青年部「第２回 意見交換会」
両町村の理解と親睦を深めた商工会

福智町商工会青年部と沖縄県・中城村商工会は、商工業の総合的な改善発展を図るため、「第２回意見交換会」を４月15日に中城村で行いました。両青年部の活動内容について発表・意見交換や地域振興事業を視察。懇親会では、新たな提携・交流についても話し合われ、今後の交流活動の促進につながるものとなりました。

↑ 交流事業には、福智町商工会青年部11人、中城村商工会青年部３人が参加。

↓ 田んぼに足を取られて泥だらけになりながらも、楽しそうに田植えを行う児童たち。

弁城小と朝鮮初級学校の合同田植え授業
共に深めた相互の絆と食への関心

朝鮮初級学校の児童たちと一緒に田植えを行い「収穫のありがたみと平和の大切さ」について学ぶことを目的とした体験授業が、５月20日に弁城小学校裏の田んぼで行われました。稲作熟練者の地域住民も全面協力し約10年間と長く続くこの授業。子どもたちは、共に協力しながら、苗を一生懸命に植えていました。

↓ 宮崎選手（＃９）のほかに、大西選手、原田選手、宮地選手、横田選手、阿羅田選手、メソマチ選手が参加。

NHK×カノア
夏でも安心して運動するために

NHK北九州放送局主催の「バレーボールと熱中症対策教室」が５月24日に田川市総合体育館で開かれました。講師として参加した「カノアラウレアーズ福岡」の選手７人は、児童約50人へ直接バレーを指導した後、神戸アナウンサーと池田気象予報士と登壇し熱中症の怖さと対策について講演。本格的な夏を目前に、子どもたちへ安全な体力づくりの重要性を訴えました。

興国寺「花まつり」
お釈迦様に優しく甘茶をかけて健康祈願

春の恒例行事である興国寺「花まつり」が、お釈迦様の誕生日である５月８日に行われました。「天界の龍王が甘露の雨を天空から注ぎ、お釈迦様の誕生を祝った」という伝説に基づくこの行事。町内外から多くの参拝者が来訪し、境内の花御堂に安置された誕生仏に甘茶をかけながら自身や家族の無病息災を祈りました。

↑ 参拝後、振る舞い用に準備された冷たい甘茶を飲み喉を潤した参拝者たち。

↓ 読み聞かせの最中には、亡き大切な存在を想って涙を流す参加者の姿も。

yorieさん原画展「虹の橋の約束」
幸せを運ぶ青い蜂が紡ぐ奇跡の物語に涙

町在住のアーティスト・yorieさんによる原画展「虹の橋の約束」が、５月12日から24日の間ふくちのちで開かれました。会期中にはプロのナレーターとハープ・ギター奏者による「読み聞かせライブ」も実施。参加者約80人はそれぞれの大切な人やペットと重ね合わせながら、ハンカチを片手に物語へ耳を傾けていました。

ゲンジボタルの乱舞
夜空に舞う幻想的なゲンジボタルの光

福智町に初夏の訪れを告げる「ゲンジボタル」が、５月下旬に見頃を迎えました。地元ボランティア団体による環境保全活動が実を結び、毎年数多くのホタルが出現するようになった上野地区。町内外から訪れた鑑賞者たちは、暗がりに舞うゲンジボタルの幻想的な光を、時間が経つのも忘れて眺めていました。

↑ 気温・湿度・風速の気象条件が合った時にしか姿を現さないゲンジボタル。

↓ 各窯元の素敵な陶器を実際に手にとり、色味や手触りを確認する来場者たち。

第51回 上野焼春の陶器まつり
魅力溢れる陶器たちが春を彩った行事

上野焼協同組合の９窯元による「春の陶器まつり」が４月25日から３日間開催されました。期間中は、各窯元の個性豊かな割引商品を求めて約9,500人の来場者が上野焼陶芸館や各窯元を散策。JAL協賛による「スタンプラリー大抽選会」や「台湾茶席体験」などの特別企画も陶器まつりを華やかに彩りました。